

「地域密着型金融・金融仲介機能」の取組み

2018年6月30日
スルガ銀行

当社は、中長期的な視点に立って組織全体として継続的に「地域密着型金融」を推進しております。2017年度の「地域密着型金融・金融仲介機能」の取組みを、次のとおりお知らせします。

I. 地域密着型金融の取組み方針

当社は、「広く消費者の健全な需要を喚起・創造することを目指し、個人消費者への金融という側面から国民経済の発展に寄与することによって、当社独自の金融仲介機能を果たしてまいります。また、個人事業主や中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化への取組みで地域密着型金融を推進してまいります。

II. 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

2017年度は、お客さまのライフステージに応じた最適なソリューションの提案・実行に努めました。

<ライフステージ別の与信先数(先数単体ベース)、融資額>

創業期
56先／41億円

成長期
120先／319億円

安定期
1,312先／1,984億円

低迷期
99先／26億円

再生期
762先／648億円

メイン取引先、創業・新事業支援

1. メイン取引先の推移、全取引先に占める割合(先数単体ベース)

	2018/3	2017/3	2016/3
メイン取引先数の推移	2,482社	2,818社	3,142社
全取引先に占める割合	74.2%	76.9%	77.6%

2. 地元の中小企業と信先のうち、無保証のメイン取引先の割合(先数単体ベース)

地元中 小 と 信先①	無保証 メイン先②	②/①
2,794社	327社	11.7%

3. 創業・新事業支援

創業期支援融資 17先 147百万円

※対象:創業時の法人、個人事業主から創業5年以内の法人、個人事業主)

成長支援

1. 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資の取組み
介護・診療・調剤報酬債権のファクタリングの取組み
2017年4月～2018年3月実績

- ・契約事業先・・・141先
- ・買取件数(年間累計)・・・1,706件
- ・買取金額(年間累計)・・・5,304百万円

2. 金融機関が事業性評価に基づく融資を行なっている
全与信先数、融資額に占める割合(先数単体ベース)

	先数	融資残高
与信先数、融資残高	1,184社	867億円
全与信先数、当該与信先の 融資残高に占める割合	35.4%	28.4%

※事業性評価に基づく融資を行なっている与信先:担保・保証に依存せず、プロパー融資が出ている中企業先

3. 公的助成制度の紹介等の取組み

(1) 地方公共団体の補助金等の紹介

ものづくり補助金申請 2件 12百万円

(2) 利子補給制度のある保証協会制度融資を活用し、
資金支援を実施

4. 「経営者保証に関するガイドライン」の適切な運用

- ・ガイドラインに基づき無保証で新規に融資した件数
5,088件(資産形成・活用ローン等含む)
- ・ガイドラインに基づき保証契約を解除した件数 29件
- ・経営者保証に関するガイドラインの活用先数、全与信先数に占める割合(先数単体ベース)

全与信先数①	ガイドライン活用 先数②	②/①
3,347社	354社	10.6%

経営改善支援

1. 経営コンサルティングならびにソリューションの提案

(1) 経営改善計画策定支援ならびに経営改善指導の実施
 営業店による経営改善支援と、本部が経営状況管理先を半期(3月末基準、9月末基準)毎に選定し、積極的なフォローを実施

- ・営業店の役割: ヒアリングや試算表受領等により業況の把握
- ・本部の役割 : 状況に応じて、計画策定の支援や経営改善支援
 【2017年度上期対象先】経営改善支援等取組先等: 55先
 【2017年度下期対象先】経営改善支援等取組先等: 53先
 【経営改善計画策定状況】計画策定先29先

(2) 一般財団法人企業経営研究所と連携した経営支援の実施

企業分析・財務分析	4件
経営計画支援	2件
新規事業相談	1件
業界調査他	26件
合計	33件

2. メイン取引先の経営改善・成長力強化

(1) 当社をメインバンクとして取引を行なっている企業のうち、経営指標等の改善見られた先、融資額の推移

メイン先数	2,450社
メイン先の融資残高	1,486億円
経営指標等が改善した先数	1,253社

(2) 経営指標等が改善した先に係る3年間の事業年度末の融資残高の推移

2018/3	2017/3	2016/3
1,182億円	1,214億円	1,152億円

※経営指標等の改善 売上高、営業利益率、労働、生産性、就業者数のいずれかが前年度比改善した先

3. 中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付き融資額の割合、100%保証付き融資額の割合

中小向け 融資残高 ①	保証協会 付融資 残高②	100%保証 付融資 残高③	②/①	③/①
2,036億円	255億円	102億円	12.5%	5.0%

4. 地元の中小企業と信先のうち、無担保と信先、無担保融資額の割合（先数単体ベース）

地元中小 と信先数 ①	地元中小向 融資残高 ②	無担保 融資先数 ③	無担保 融資残高 ④	③／①	④／②
2,794社	1,337億円	1,953社	220億円	69.9%	16.5%

5. 地元の中小企業と信先のうち、根抵当権を設定していないと信先の割合（先数単体ベース）

地元中小 と信先数 ①	根抵当権 未設定先数 ②	②／①
2,794社	2,018社	72.2%

6. 当社が貸付条件の変更を行なっている中小企業の経営改善計画の進捗状況

条件変更先総数	好調先	順調先	不調先
911先	16先	46先	849先※

売上高または営業利益の計画比での進捗率を次のとおり定義しています

[120%超] 好調先 [80～120%] 順調先 [80%未満] 不調先
※不調先には経営改善計画を策定していない841先を含む

7. 返済条件変更のご相談受付（2017年度実績）

中小企業等のお客さま	5,067件
住宅ローンご利用のお客さま	514件

8. 相談受付態勢の強化

中小企業や個人事業主のお客さまの資金繰りなどのご相談にお応えする休日窓口の設置

<年末、年度末における「休日融資相談窓口」>

窓口設置日：2017年12月9日（土）、2018年3月17日（土）

相談窓口：本店営業部

：三島セントラル支店

事業再生など

多様な手法を用いた事業再生支援

1. 再生計画の策定による支援	92先	5. 地域経済活性化支援機構の活用	該当なし
2. プリパッケージ型事業再生や私的整理ガイドラインの活用	3先	6. 事業引継ぎ支援センターの活用	該当なし
3. 中小企業再生支援協議会等の活用	13先	7. DIPファイナンス・エグジティブファイナンス等の活用	1先
4. 経営改善支援センターの活用	13先	8. その他	
特定調整スキームによる事業譲渡への取組み			

Ⅲ. 地域の面的再生への積極的な参画

静岡県東部を中心に県が推進する「ファルマバレープロジェクト」に積極的に参加するとともに、静岡県東部の企業で構成される「サンフロント21懇話会」の活動等地域活動への積極的な参画を通じて、地域経済の活性化に取り組みました。

1. 地域経済全体を展望したビジョン策定への支援

(1)「静岡県ファルマバレープロジェクト」への積極的参加

- ①富士山麓産業支援ネットワーク会議への参加
- ②富士山麓ファルマバレー戦略 推進協議会への参加
- ③ふじのくに先端医療総合特区 地域協議会への参加
- ④富士山麓産学官金連携フォーラム2018へのブース出展
- ⑤取引先企業へのふじのくに先端医療総合特区周知
および利子補給金の活用支援 他

(2)「サンフロント21懇話会」の活動支援

当社会長(岡野光喜)が、代表幹事を務め、運営委員会への参加や研究組織「TESS」の役員(企業経営研究所常務理事)として2017年度活動計画策定、運営に携わる

2. CSRへの取組み

「SURUGA ECO ACTION」に基づく環境保全活動等の実施

(1)環境関連金融商品の取扱い

- ①デジタル通帳の提供などペーパーレス化を推進
- ②各種サービスのデジタル化の推進 等

(2)エコオフィス化の推進

環境に配慮した設備を継続的に導入

- ①店内照明にLED照明
- ②駐車場壁面の緑化
- ③カーボンオフセット付リサイクル材の使用 等

(3)社会貢献活動の実施

- ①富士山周辺の環境保全活動の実施
- ②18時以降のライトダウン活動の実施

3. 利用者のニーズに対応した付加価値のある金融サービスの提供

(1) 消費者向けローンへの積極的な取り組み

①お客さまとのタッチポイントの充実を図り、消費者向けローンに関する相談受付態勢の強化を図った。

②お取引のあるお客さまへの継続的リレーションの実施と付加価値の提供により、健全な消費活動のサポートに努めた。

IV. 地域やお客さまへの積極的な情報発信

当社は、地域密着型金融の取り組みや地域社会の特色ある文化づくり等について、当社のホームページに掲載し、地域や利用者等に向けた情報発信をしています。

1. 地域密着型金融推進計画の策定と進捗状況の公表

・ホームページにおいて、「地域密着型金融推進計画」の策定と進捗状況を公表

2017年6月30日 「地域密着型金融推進計画(2016年度)」の進捗状況について

2017年6月30日 「地域密着型金融推進計画(2017年度)」について

2. ディスクロージャー誌等による社会貢献活動等の公表

(1) ディスクロージャー誌、ミニディスクロージャー誌、決算短信、ホームページ等において、グラフや図表および写真を使用し、お客さまに分かりやすい積極的な情報開示

(2) CSRについては、環境、スポーツ、教育・文化・福祉支援等、地域で取り組んでいる活動状況を積極的に情報開示

3. 地域を担う若い世代や高齢者への金融知識の普及

(1) インターンシップの受入れ

静岡県・神奈川県出身の学生を中心に、合計128名の学生を受入れ(前年比+18名)

(2) 一般財団法人企業経営研究所による国際交流支援事業等の実施し、次代を担う子供たちに夢を与え、地域経済社会の国際化に対応する人材育成と内外の交流活動を積極的にサポート

2017年7月	海外研修・研究等助成	4名(累計51名)
2018年2月	外国人・研修研究等助成	2名 (累計54名・組)
2018年2月	国際交流功労賞顕彰	3団体 (累計55団体・個人)

4. 各種セミナー開催などによる地域人材育成等

(1)「スルガ・マネジメントセミナー」

各界で活躍する講師を招いて、経済、経営、社会情勢など様々なテーマで講演を開催し、地域経済や企業の持続的発展を担う人材育成をサポート

年	年間開催回数	年間参加者数
2017年	3回	300人
2016年	3回	320人
2015年	3回	310人

(2)「スルガビジネススクールMBA講座」

国内随一のビジネススクールである慶應義塾大学経営大学院の教授陣などを招聘し、セミナーを開催。経営者や経営幹部へ、総合的な視野に立った意思決定能力の育成のほか、地域の人的ネットワークの場を提供

年	年間開催回数	年間参加者数
2017年	1回	26人
2016年	1回	25人
2015年	1回	27人

(3) サイクルステーションでのイベント

年	イベント回数
2017年	25回
2016年	27回
2015年	18回

天城湯ヶ島サイクルステーション



御殿場サイクルステーション



湯河原サイクルステーション

